

《株式会社エフエム東京 第420回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 27 年7月7日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数6名(社外6名 社内 0 名)

◇出席委員(4名)

横 森 美 奈 子 委員長	渡 辺 貞 夫 委員
ロバート・キャンベル 委員	川 上 未 映 子 委員

◇欠席委員(2名)

内 館 牧 子 委員	秋 元 康 委員
------------	----------

◇社側出席者(10名)

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
平 専務取締役  
吉 田 常務取締役  
村 上 取締役 編成制作局長  
山 科 常勤監査役  
森 田 マルチメディア放送事業本部 ゼネラルプロデューサー  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
平 岡 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(0名)

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 23 分)  
「SCHOOL OF LOCK!」  
2015 年 6 月 24 日(水) 22:00～23:55 放送

## ≪議事内容≫

### 議題 1:最近の活動について

#### ■2015 年6月度 聴取率調査結果について

2015 年 6 月の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。(調査対象期間:6 月 8 日～6 月 14 日)

今回は、当社メインターゲットである M1F1 層(男女 20-34 才)において、F1 層では単独トップを獲得したものの、M1 層でスコアを下げる結果となり、M1F1 合算では全日平均で在京局中第 2 位でした。なお、12-59 才のリーチ(到達率)は 9 期連続で単独首位を継続中です。

今回の特長としては、40 代男性区分で在京局トップを獲得する等、12-59 才全体のスコアは上げることができましたが、その一方で 20 代男女区分のスコアが低迷しました。この要因として、これまで上昇基調だった聴取分数が今回伸び悩み、特に平日タイム帯での M1F1 層の聴取率の落ち込みにもつながっています。リスナーの方に 1 分でも長く聴いてもらえる施策、番組演出が今後の課題となりました。

リスナー第一主義の方針の元、若者を中心に幅広いリスナー層に共感される話題、選曲、そして継続聴取を図った番組演出に一層磨きをかけ、さらなる聴取率向上を目指してまいります。

#### ■人気番組の LINE スタンプを発売

6 月 14 日に、「NISSAN あ、安部礼司～beyond the average」(日曜 17:00～17:55)から、6 月 22 日に、「Skyrocket Company」(月～木曜 17:00～19:00)より、それぞれ番組オリジナルの LINE クリエーターズスタンプを発売いたしました。

「ごくごく普通の昭和生まれのナイス・サラリーマン」を主人公にした「安部礼司」からは、昭和生まれのサラリーマンが、仲の良い同僚との間で仕事でも使えるものをコンセプトにしたスタンプ 40 種を発売。

一方、「Skyrocket Company」は、2015 年 1 月より「スカロケ LINE スタンププロジェクト」をスタート、リスナー社員と一緒に、仕事で使える LINE スタンプを開発してきました。スタンプに採用するセリフはリスナー社員の投票によって決定し、さらに、2 人のリスナー社員、「光の三原則」さんと「はだかのペンジー」さんが書き下ろしたオリジナルイラストを採用しました。本部長のマンボウやしろ、秘書の浜崎美保の番組中のおなじみのセリフをはじめ、仕事で使えるユニークなスタンプを全 40 種類揃えています。

【安部礼司 スタンプ例】



【Skyrocket Company  
スタンプ例】



【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○このスタンプの画像を購入する人は実際にいるのか？

■120 円で 40 種類の画像が購入できるようになっており、「安部礼司」の方はすでに 1 万件ほどダウンロードされている。

「Skyrocket Company」の方はアプリユーザーが 3 万件を達したことを記念して発売したが、デザインは、番組リスナーの中にイラストレーターを職業としている人がいて、その人にやっていただいた。番組パーソナリティがモチーフになっている。

「SCHOOL OF LOCK!」でも、オリジナル LINE スタンプは販売している。

○早速 LINE のスタンプショップで検索したが、番組名で検索すれば出てくるが、局名ではうまく検索ができなかった。いろいろな検索パターンに対応すると良いと思う。

○LINE スタンプはどのくらい売れると成功と言えるのか？1 万件でもすごいと思うが、俳優の田辺誠一さんのイラストも「画伯」と言われて、かなりヒットし、利益が数千万規模という話も聞く。それだけポテンシャルのあるマーケットではあるのか？

■田辺さんの例はかなり破格だと思う。「安部礼司」の 1 万件は初動としては結構多い方だと思っており、全国ネットの人気番組ということもあり、これからの伸びにも期待している。

○どちらかというとプロモーション目的という意味合いなのではないか？

■もちろん番宣、PR の要素があり、常にリスナーの手元に番組のキャラクターを置いてもらえることに意味があると思っている。

○聴取分数の伸び悩みについてだが、具体的な対策はどんなことになるのか？

■調査結果が今朝出たばかりなので、まだ初見の段階だが、前回調査では20代男性の聴取分数が着実に上昇基調にあったのだが、今回かなり落としてしまった。来週、より詳しいデータをもって分析ができるので、15分刻みの結果に照らし合わせながら、どの時点でリスナーが流出しているのかを分析するつもりだ。聴き心地よく、10分先、20分先、30分先まで聞いてもらえる演出を常に心がけてはいるが、こちらの意図と受け取る側の心理にもギャップがあったのだろうと思うので、十分分析したい。放送で扱う話題やテーマとコアターゲットにしているM1F1の実際の興味関心が合致しているのかなど、ラジオの聴取者は非常にセンシティブなので、改めて検証したい。

○今回の落ち込みはこれまでにない水準なのか？

■過去になかったことはないが、昨年1年間堅調に推移してきただけに、突っ込んだ対策が必要だと考えている。

○普段の放送を聴いていて、コマーシャルの本数や時間が増えている気がするが、その影響はないか？スポンサーは大事だが、スポットCMでも、結構長いと感じるものが多い。そういうものが間に入ると、番組の流れが中断されてしまう。

■これはラジオ各社一様で、当社に限ったことではないが、長尺の素材でレスポンスを募るような手法をとられる業種的な潮流というのはある。

○長尺のコマーシャルを聴いているうちに、何の番組を聴いていたか、わからなくなってしまうときがある。

## 議題2: 番組試聴

【番組名】「SCHOOL OF LOCK!」

出演:とーやま校長、あしざわ教頭

ゲスト:古市憲寿(社会学者)

【放送日時】 2015 年 6 月 24 日(水) 22:00～23:55 放送 (JFN38 局フルネット)

### 【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、毎週月～土曜、22 時より放送しているレギュラー番組「SCHOOL OF LOCK!」、6 月 24 日(水)の放送回のダイジェストです。

この回は、前週に選挙権年齢を 20 歳以上から、18 歳以上に引き下げる「改正公職選挙法」が国会で可決されたことを受けて、「10 代の選挙権」をテーマに生放送を行いました。番組では、「選挙に行く・行かない・わからない」、その理由を番組掲示板とメールで募集し、ゲストにお迎えした社会学者の古市憲寿さんを交えて、18 歳選挙権について話し合い、電話をつないだリスナーにも意見を聞いていきました。

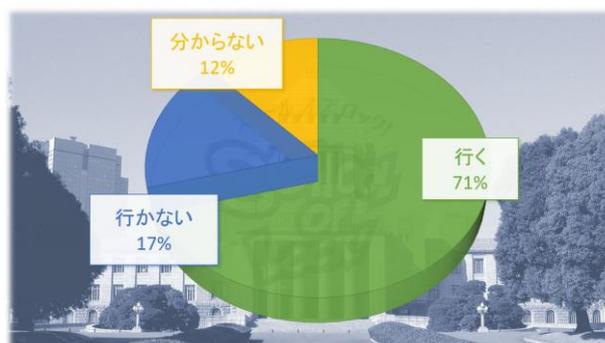
当日は、朝から 10 代リスナーが多く利用するアプリ「LINE」の番組アカウントを活用して、「10 代のキミに選挙権があったら選挙に行きますか?」というアンケートを実施したところ、6,051 人の 10 代リスナーが回答し、うち 71%の 10 代リスナーが「選挙権があったら選挙に行く」と回答しました。

これは、平成 24 年度の 20 代の投票率、20～24 歳＝35.30%、25～29 歳＝40.25% (※ 平成 26 年 3 月に総務省選挙部が発表している「目で見える投票率」より)と比較して圧倒的に高いことがわかりました。

また、番組では 2012 年 12 月 13 日衆議院総選挙直前の放送で同様のアンケートを実施しており、この時は全回答者 2,450 人のうち「選挙に行く」と答えた 10 代リスナーは 77.1%でした。「18 歳選挙権」が現実となった今回も、依然 10 代の選挙への関心が高いことがわかりました。

### 今、10代の君に選挙権があったら選挙に行きますか？

(SCHOOL OF LOCK! LINE@アカウント内で10代リスナーにアンケート実施 2015/6/24 N=6051)



【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○テンポよくスムーズに聴けた。キャスティングも良く、古市さんと番組の相性も良かった。

データの使い方については、せっかく LINE でアンケートを取るのならば、二択だけではなく、「大人と選挙について話をしたことがあるか?」、「友達と選挙について話すか?」、「選挙について覚えていることは?」など、少し具体的なコメントを書き込めるような仕組みがあったら良かったと思う。

また、掛け合いの中で、「大人も意外にわかっていない」、といった言葉があったが、これは若い人にも刺さる部分だと思うので、大人がどう選挙に向き合っているかについて、データや証言などの肉付けがあった方が良かった。掛け合いの中で、さらっと大切なことが語られていたが、ポイントによってはもう少し掘り下げてもよかったです。

○今回の内容はすばらしいと思って聞いた。ゲストの古市さんの独特なスタンスや語り口が、上から目線にならず、18 歳にも受け入れられるであろう今っぽい雰囲気です。3 人のやりとりもテンポよく、内容も良かった。

リスナーが電話で拙いながらも自分の気持ちを話し、それに対して親切に話を持っていくので、聴くだけでも参加している感じがした。

18 歳のときにこういう放送に触れたら、次は何について話すんだろうと知的好奇心を掻き立てられるだろう。17～18 歳の頃に触れたもの、音楽、どういう大人に出会い、どういう考えに出会うかというのはとても大事で、今、自分は大人になってそれに責任感を感じている。例えば自分なら、女の子たちに、これから女性が生きていく上での女性学のような話をしたい気持ちがあるが、こういう場があることが素晴らしい。

「選挙」というと分からないからといってネガティブに思うリスナーもいるかもしれないが、「分からないけどやってみよう」という姿勢も良かったし、ともすれば大人の目線からやりがちになるところ、非常にいいバランスで最後までやっていた。今後もいろんなジャンルの話題を取り扱ってほしい。

○「選挙に行く、行かない」という YES/NO という結論から話に入っていたのが良かった。

○世界的に見ても、「雨傘革命」なども若者が先頭になってやっている。その影響力がどれほどかはわからないが、若い世代の政治参加の可能性にもっと気づくべきだし、学校教育だけでは興味を持ちづらいが、文化、サブカルチャーから政治に参加していくきっかけ作りはどんどんやってほしいと思う。

○おしゃべりが早口で、後ろの BGM も忙しい音が鳴っているだけで、耳に入って来なかった。テーマについてただ意見を言い合うだけでなく、他にも作り方があろうと思う。夜の 10 時はいい時間帯で、若者と一緒にいい時間を持ちたいという番組だと思うので、もう少し落ち着いたトーンでも良いのではないかと。TOKYO FMらしい音の品も必要だ。

○今回、個人的にも非常に興味深いテーマだったが、確かに BGM のボリュームがうるさかった。他の試聴番組より耳障り感があつたことは確か。

内容については、18 歳の人たちのリアルな声ということで、素直に聴けた。「選挙に行く」という意思を示した比率がこれだけ高いことに驚いたし、「政治のことをちゃんと知らないから、いい加減に投票できない」といった 10 代リスナーのリアルな意見は、大人にとっても耳の痛いものだった。

学校の授業で、政治について色をつけずにきちんと説明するのは難しいかもしれないが、何も知らずに投票しろということではなく、政治とはこういうもので、だから選挙が必要なんだ、というインフォメーションが大事だ。18 歳に限らず、こういったシステムを変えることによって見えてくることを大事にして、考えるきっかけを作るのは重要だ。

普段はもっと気軽な内容でやっている番組だが、こういう問題を真正面から取り上げたのは大変素晴らしいと思う。

■パーソナリティの校長、教頭も政治に詳しいわけではないので、誰かゲストをお招きしたいと思ったが、政治評論家のような詳しくすぎる人を入れてしまうと、また学校の授業のような空気になる。その嫌悪感を取り払ったところで一緒に考えたいと思い、今回、古市さんをお招きした。

放送にあたっては、選挙に行く、行かない、どちらの選択だとしても、それについて頭ごなしにこちらから良い悪いを言うのではなく、リスナーの声をあくまで聴くことを出演者に徹底した。それで、ラジオの前でリスナーそれぞれが自分で考えてくれたらいいと思ってやった放送だった。番組掲示板への書き込みも、通常より件数も文字量も多かった。また、東北のリスナーは、震災以降の自分たちの街づくりなどと政治が直結しているので、関心が高い傾向があった。

つついその場の楽しさを重視してテーマ選定してしまうこともあるが、なるべくこういった世の中の動きに目を離さずに、懐の深い番組にしていきたい。

## 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「SPO☆LOVE」  
7月25日(土)5:00～6:50放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

<第 420 回放送番組審議会 議事録>

7. その他

8月は休会とし、次回の放送番組審議会を、9月1日(火)に開催することを決めた。